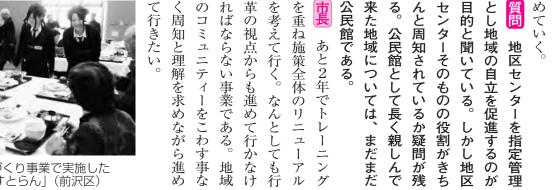
## 『協働のまちづくり』をどう進めて行くか



成を行い市民の意識の醸成に努 知している。リーダー研修や育

せき 関

	遅れている地域もあることは承
	が実施されている。事業実施が
	の届きにくい市民目線での事業
	活道路・交通安全等と行政の目
	が歴史・文化、防災・防犯、生
	なった。内容はイベントが多い
	13事業、執行率は70%と倍に
	機能しなかったが、24年度は3
	市長 初年度は不慣れもあって
	進めていくのか。
	の目的達成に向けこれからどう
	業が終わる予定であるが、所期
	地域もある。あと2年でこの事
	に悩んでいて事業が進んでない
	あれば区長や振興会長等が使途
	域のために使っている振興会も
	えられた交付金を有効にその地
	地域のみなさんの声を聞き、与
	交付金が毎年支給されている。
	をつくる」とまどいと不安の中、
	目に入った。「市民自ら、まち
	かった事業が示されてから3年
_	方分権の一環により今までな
_	し、まちづくりをする。国の地
	質問 市民と行政が共に汗を流





しょう こ 笙子

(創政会)

協働のまちづくり事業で実施した 「高校生れすとらん」(前沢区)

かとう 加藤 (爽志会) たい	<ul> <li>●行財政改革における重点項目は何か</li> <li>●減反政策の見通しは</li> </ul>
等 価 、 対 た 5	
	仕歯と眼並べとよ奴ナた田佐

規就農者等の持続可能な経営体 奥州市農業基本計画に沿って具 タープラン策定を行うとともに、 関と連携を深め、 集落営農組織、認定農業者、新 体的に進めていく。 普及センター、両農協、関係機 さらに進めていく。農業のある があることから圃場整備事業は 経営体の基盤強化を進める必要 また農業経営の効率化に向け、 を育成するための支援を行う。 べき姿に向け、 県南広域振興局 地域営農マス



圃場整備により効率化を進める農業経営体

8